



平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月10日
上場取引所 東 大

上場会社名 オーミケンシ株式会社
コード番号 3111 URL <http://www.omikenshi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 乙村 誠
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部 経理財務部長 (氏名) 村上聖二
定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日 配当支払開始予定日
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

TEL 06-6205-7300
平成25年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	14,549	△11.3	473	36.2	162	136.1	149	△52.1
24年3月期	16,395	△2.5	347	△61.1	68	△84.5	311	△68.4

(注) 包括利益 25年3月期 171百万円 (556.0%) 24年3月期 26百万円 (△97.2%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	0.47	—	1.7	0.5	3.3
24年3月期	2.92	2.41	3.5	0.2	2.1

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	31,008	9,087	28.7	65.05
24年3月期	34,323	9,100	26.0	65.31

(参考) 自己資本 25年3月期 8,910百万円 24年3月期 8,927百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	△417	3,102	△2,363	1,845
24年3月期	20	68	117	1,511

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	65	34.2	1.5
25年3月期	—	0.00	—	1.00	1.00	65	212.8	1.5
26年3月期(予想)	—	0.00	—	—	—	—	—	—

(注) 25年3月期期末配当金の内訳 記念配当 1円00銭

- 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況につきましては、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。
- 24年3月期の期末配当金は記念配当であります。
- 26年3月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	7,600	1.2	200	226.2	50	—	30	△72.9	△0.41
通期	15,500	6.5	450	△5.0	150	△7.8	100	△33.0	△0.22

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.11「3.連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	66,024,594 株	24年3月期	66,024,594 株
② 期末自己株式数	25年3月期	42,303 株	24年3月期	40,791 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	65,982,920 株	24年3月期	65,985,194 株

(参考) 個別業績の概要

平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	11,576	△9.8	402	△26.2	112	△44.4	154	△74.4
24年3月期	12,832	3.8	546	414.3	202	—	604	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期	0.55	—
24年3月期	7.37	4.69

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
25年3月期	32,535	11,612	11,612	35.7	106.01			
24年3月期	35,544	11,644	11,644	32.8	106.48			

(参考) 自己資本 25年3月期 11,612百万円 24年3月期 11,644百万円

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項の詳細は、添付資料P.2「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1)経営成績に関する分析」をご覧ください。
2. 26年3月期の期末配当予想額につきましては、業績動向等を見極めつつ検討することとしており、配当予想額の開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
24年3月期	—	0.000	—	12.225	12.225
25年3月期	—	0.000	—	12.170	12.170
26年3月期(予想)	—	0.000	—	11.745	11.745

B種優先株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
24年3月期	—	0.000	—	13.475	13.475
25年3月期	—	0.000	—	13.420	13.420
26年3月期(予想)	—	0.000	—	12.995	12.995

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	3
3. 連結財務諸表	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は緩やかながら持ち直しつつありますが、欧州債務危機や尖閣諸島問題を発端とした日中関係の悪化、政権交代後の急激な円安等依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当社は繊維各部門についてレーヨンの横串展開を軸に販売強化に取り組むとともに不動産事業にも注力してまいりました。この結果、当連結会計年度の売上高は14,549百万円(前年同期比11.3%減)となりましたが、営業利益は473百万円(前年同期比36.2%増)、経常利益は162百万円(前年同期比136.1%増)となりました。当期純利益は特別損益や法人税、住民税及び事業税および法人税等調整額(益)を計上した結果、149百万円(前年同期比52.1%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①繊維

繊維部門につきましては、円高による輸出不振が継続するとともに国内販売においても苦戦しました。ブラジルの連結子会社においては、期中盤から業績が回復してまいりました。これらの結果、繊維部門全体では売上高12,645百万円(前年同期比10.5%減)、セグメント損失15百万円(前年同期は445百万円のセグメント損失)となりました。

②不動産

不動産部門につきましては、不動産賃貸事業は堅調に推移しましたが、販売用不動産の売却が前連結会計年度に比べて減少したこともあり、売上高1,385百万円(前年同期比17.0%減)、セグメント利益1,018百万円(前年同期比21.6%減)となりました。

③その他

その他部門につきましては、売上高518百万円(前年同期比14.2%減)、セグメント損失60百万円(前年同期は36百万円のセグメント損失)となりました。

次期の見通しにつきましては、為替変動や日中関係悪化の長期化等の懸念材料があり、厳しい経営環境が継続すると予想されます。

このような状況の下、当社グループは環境を守る企業として地位を確立しつつ、安定的に収益を計上できる体制作りを目指して、高付加価値商品の開発、販売力の強化に取り組んでまいります。

通期の業績見通しにつきましては、売上高15,500百万円、営業利益450百万円、経常利益150百万円、当期純利益100百万円を見込んでおります。

なお、今後の先行きは非常に見通しにくい状況であり、現時点での想定しうる事象を考慮して業績予想を算定しておりますが、さらに大きな影響が見込まれる場合には、速やかに開示いたします。

(2) 財政状態に関する分析

当社グループの資金状況につきましては、営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益が250百万円となり、減価償却費236百万円等がありましたが、仕入債務の減少384百万円等があり、417百万円の資金の減少となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出666百万円がありましたが、有形固定資産の売却による収入3,139百万円、敷金回収による収入635百万円があり3,102百万円の資金の増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債発行による収入1,000百万円がありましたが、長短借入金の増減による支出3,154百万円等があり2,363百万円の資金の減少となりました。

これらの結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末より334百万円増加し、1,845百万円となりました。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率 (%)	24.5	23.0	25.3	26.0	28.7
時価ベースの自己資本比率 (%)	18.4	23.0	24.2	23.3	27.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	35.4	-	118.1	583.1	-
インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍)	0.8	-	0.3	0.1	-

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

(注2) 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

(注4) 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っているすべての負債を対象としております。

(注5) 平成22年3月期及び平成25年3月期は、「営業活動によるキャッシュ・フロー」がマイナスのため、キャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオの記載を省略しております。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主各位への配当政策は最重要政策の一つとして認識しており、収益状況、内部留保の充実等を総合的に勘案し、安定配当を行うことを基本としております。

当社の連結子会社であるオーミ・ド・ブラジルテキスタイル株式会社は本年6月に創立40周年を迎えることとなります。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位のご支援の賜物と心から感謝申し上げます。つきましては、ご支援を頂きました株主の皆様へ感謝の意を表しますとともに、平成25年3月期の期末配当につきましては、1株当たり1円の記念配当を実施することといたしました。

今後も厳しい経営環境が継続すると予想されます。従いまして平成26年3月期の中間配当は0円、期末配当につきましては未定とさせていただきます、配当金額が決定しだい速やかに開示いたします。

2. 経営方針

平成23年3月期決算短信（平成23年5月11日開示）により開示を行った内容から重要な変更がないため開示を省略しております。

当該決算短信は、次のURLからご覧いただくことができます。

(当社ホームページ)

<http://www.omikenshi.co.jp/>

(東京証券取引所ホームページ（上場会社情報検索ページ）)

<http://www.tse.or.jp/listing/compsearch/index.html>

3. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,514	1,848
受取手形及び売掛金	2,072	2,228
商品及び製品	1,815	1,957
仕掛品	462	401
原材料及び貯蔵品	531	572
繰延税金資産	604	3
その他	414	291
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	7,405	7,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,014	1,374
機械装置及び運搬具（純額）	611	802
土地	23,802	20,886
建設仮勘定	0	8
その他（純額）	152	145
有形固定資産合計	25,581	23,216
無形固定資産	19	18
投資その他の資産		
投資有価証券	209	175
長期貸付金	41	—
その他	1,140	342
貸倒引当金	△74	△64
投資その他の資産合計	1,316	453
固定資産合計	26,917	23,689
繰延資産		
社債発行費	—	24
繰延資産合計	—	24
資産合計	34,323	31,008

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,514	2,160
短期借入金	9,223	6,030
1年内償還予定の社債	—	140
リース債務	23	45
未払法人税等	103	287
賞与引当金	92	64
事業構造改善引当金	34	—
資産除去債務	22	—
その他	733	641
流動負債合計	12,746	9,371
固定負債		
社債	—	860
長期借入金	2,445	2,481
リース債務	55	266
繰延税金負債	7,832	6,901
退職給付引当金	891	828
役員退職慰労引当金	71	60
環境対策引当金	77	77
その他	1,101	1,073
固定負債合計	12,476	12,549
負債合計	25,223	21,921
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,305	5,305
資本剰余金	2,424	2,424
利益剰余金	2,974	2,939
自己株式	△3	△3
株主資本合計	10,700	10,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	3
繰延ヘッジ損益	1	△0
為替換算調整勘定	△1,776	△1,756
その他の包括利益累計額合計	△1,772	△1,753
少数株主持分	172	176
純資産合計	9,100	9,087
負債純資産合計	34,323	31,008

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	16,395	14,549
売上原価	13,521	11,716
売上総利益	2,873	2,832
販売費及び一般管理費	2,526	2,359
営業利益	347	473
営業外収益		
受取利息	20	27
受取配当金	1	1
債権売却益	104	—
雑収入	89	74
営業外収益合計	215	103
営業外費用		
支払利息	336	316
雑損失	158	97
営業外費用合計	494	414
経常利益	68	162
特別利益		
固定資産売却益	—	101
投資有価証券売却益	7	—
事業構造改善引当金戻入額	36	—
特別利益合計	43	101
特別損失		
固定資産廃棄損	25	6
事業構造改善費用	47	—
たな卸資産評価損	166	—
未収債権減額損失	—	163
その他	62	67
特別損失合計	302	238
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△189	25
法人税、住民税及び事業税	8	206
法人税等調整額	△394	△329
法人税等合計	△386	△122
少数株主損益調整前当期純利益	196	148
少数株主損失(△)	△115	△0
当期純利益	311	149

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	196	148
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	1
繰延ヘッジ損益	1	△2
為替換算調整勘定	△171	24
その他の包括利益合計	△170	23
包括利益	26	171
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	191	168
少数株主に係る包括利益	△165	3

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	5,305	5,305
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	5,305	5,305
資本剰余金		
当期首残高	2,424	2,424
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	2,424	2,424
利益剰余金		
当期首残高	2,851	2,974
当期変動額		
剰余金の配当	△187	△184
当期純利益	311	149
当期変動額合計	123	△35
当期末残高	2,974	2,939
自己株式		
当期首残高	△3	△3
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△3	△3
株主資本合計		
当期首残高	10,576	10,700
当期変動額		
剰余金の配当	△187	△184
当期純利益	311	149
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	123	△35
当期末残高	10,700	10,664

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	2	2
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△0	1
当期変動額合計	△0	1
当期末残高	2	3
繰延ヘッジ損益		
当期首残高	—	1
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	△2
当期変動額合計	1	△2
当期末残高	1	△0
為替換算調整勘定		
当期首残高	△1,655	△1,776
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△120	19
当期変動額合計	△120	19
当期末残高	△1,776	△1,756
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,653	△1,772
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△119	18
当期変動額合計	△119	18
当期末残高	△1,772	△1,753
少数株主持分		
当期首残高	338	172
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△165	4
当期変動額合計	△165	4
当期末残高	172	176
純資産合計		
当期首残高	9,261	9,100
当期変動額		
剰余金の配当	△187	△184
当期純利益	311	149
自己株式の取得	△0	△0
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△285	22
当期変動額合計	△161	△13
当期末残高	9,100	9,087

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△189	25
減価償却費	292	236
退職給付引当金の増減額(△は減少)	66	△63
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1	△11
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3	△9
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4	△27
たな卸資産評価損	166	—
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	△36	△34
有形固定資産除売却損益(△は益)	25	△94
投資有価証券売却損益(△は益)	△7	—
受取利息及び受取配当金	△21	△29
支払利息	336	316
未収債権減額損失	—	150
売上債権の増減額(△は増加)	149	△143
たな卸資産の増減額(△は増加)	△375	△112
仕入債務の増減額(△は減少)	19	△384
未払消費税等の増減額(△は減少)	5	△19
その他	△54	91
小計	369	△106
利息及び配当金の受取額	21	29
利息の支払額	△337	△317
法人税等の支払額	△33	△22
営業活動によるキャッシュ・フロー	20	△417
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	156	—
有形固定資産の取得による支出	△120	△666
有形固定資産の売却による収入	—	3,139
投資有価証券の取得による支出	—	△5
投資有価証券の売却による収入	8	—
敷金の回収による収入	24	635
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	68	3,102
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△329	△3,442
長期借入れによる収入	2,230	1,200
長期借入金の返済による支出	△1,573	△912
社債の発行による収入	—	1,000
リース債務の返済による支出	△21	△24
配当金の支払額	△188	△184
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	117	△2,363
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	197	334
現金及び現金同等物の期首残高	1,313	1,511
現金及び現金同等物の期末残高	1,511	1,845

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(減価償却方法の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響額は軽微であります。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製品・サービス別の生産販売体制を有し、取り扱う製品・サービスについて国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、生産販売体制を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「繊維」、「不動産」の2つを報告セグメントとしております。

「繊維」は、レーヨン綿、紡績糸、編織物等の生産販売を行う事業、「不動産」は、不動産賃貸、住宅分譲等を行う事業であります。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、棚卸資産の評価基準を除き、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

棚卸資産の評価については、収益性の低下に基づく簿価切下げ前の価額で評価しております。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自平成23年4月1日至平成24年3月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	14,122	1,669	15,791	604	16,395	—	16,395
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	6	6	—	6	△6	—
計	14,122	1,676	15,798	604	16,402	△6	16,395
セグメント利益又は損失(△)	△445	1,298	853	△36	817	△469	347
セグメント資産	17,514	9,262	26,776	434	27,211	7,112	34,323
その他の項目							
減価償却費	246	1	248	0	249	43	292
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	127	—	127	2	129	—	129

当連結会計年度（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	連結 財務諸表 計上額 (注) 3
	繊維	不動産	計				
売上高							
外部顧客への売上高	12,645	1,385	14,030	518	14,549	—	14,549
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	6	6	—	6	△6	—
計	12,645	1,392	14,037	518	14,555	△6	14,549
セグメント利益又は損失 (△)	△15	1,018	1,003	△60	943	△469	473
セグメント資産	17,615	9,127	26,742	581	27,323	3,684	31,008
その他の項目							
減価償却費	210	1	212	6	218	18	236
有形固定資産及び無形固定 資産の増加額	686	—	686	266	953	0	954

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソフトウェア開発・販売、園芸事業等を含んでおります。

2. 調整額の内容は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失 (△)

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
セグメント間取引消去	19	19
全社費用※	△488	△488
合計	△469	△469

※全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

セグメント資産

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度
債権の相殺消去等	△4	△15
全社資産※	7,116	3,699
合計	7,112	3,684

※全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない操業を停止した工場跡地及び管理部門に係る資産等
であります。

有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、管理部門に係る設備投資額であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
1株当たり純資産額	65.31円	1株当たり純資産額	65.05円
1株当たり当期純利益金額	2.92円	1株当たり当期純利益金額	0.47円
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益金額	2.41円	なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、希薄化効果を有していないため記載しておりません。	

(注) 1. 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益金額(百万円)	311	149
普通株主に帰属しない金額(百万円) (うち優先配当額(百万円))	118 (118)	118 (118)
普通株式に係る当期純利益金額 (百万円)	192	30
普通株式の期中平均株式数(千株)	65,985	65,982
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
当期純利益調整額(百万円) (うち優先配当額(百万円))	118 (118)	— (—)
普通株式増加数(千株) (うち優先株式数(千株))	63,025 (63,025)	— (—)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	A種優先株式(発行価額の総額1,000百万円) B種優先株式(発行価額の総額3,500百万円)

(注) 2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当連結会計年度末 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	9,100	9,087
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円) (うち優先株式払込金額(百万円))	4,791 (4,500)	4,794 (4,500)
(うち優先配当額(百万円))	(118)	(118)
(うち少数株主持分(百万円))	(172)	(176)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	4,309	4,292
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(千株)	65,983	65,982

(重要な後発事象)

該当事項はありません。